

十社
保育所

十社の豊かな自然は、 こどもたちの最高の遊び場

ふるさとの山や川は、子どもたちの生きる力を育てくれる素晴らしい遊び場です。地域の人たちに見守られ、自然の中で遊びのびのびと遊び育った子どもたちは、自分の生まれ育ったところや仲間を大切に思う心も体もたくましい人に成長していきます。私たちはそう成長してくれることを願い、十社の豊かな自然の中で、わくわくするような体験をひとつでも多く子どもたちにと、地域の方の知恵もお借りしながら、日々の保育に取り組んでいます。

地域のみなさんに 見守られて

ふれあい体操の会と園庭開放



カメ吉・カメ子

ミニ水族館には川で捕まえた魚やドジョウも仲間入りしています。



山や川は自然のアスレチック
そして、身を守る術を学ぶところ



地域のお年寄りとの交流会



バスのおじさんは木工名人。子どもたちに木のぬくもりを教えてくださいます。おじさんの工房はバスの車庫。



親子行事はそうめん流し。竹の食器やそうめんを流す道具は前々日におじさん、おばあさんたちが作りに来ていただきました。

『食べることは生きること』

食べることが楽しいと感じられる人になってほしいと、おやつやおでん作りを楽しんでいます。この日は、いばらもちを園児のおじいさんに教えてもらいました。

☎ 十社保育所(北勢町畑毛774番地) ☎ 72-4054

編集後記

平均4時間半。みなさん何の時間か分かりますか?日本の主婦が1日に家事にあてる時間だそうです。子どもを持つ20~50代の既婚女性を対象に、米国・英国・スウェーデン・中国でも同様の調査を実施したところ、日本に続いてスウェーデンが2時間40分で日本の6割程度。最も短かったのは中国の2時間未満で日本の半分以下。これは、日本女性の手際の悪さではなく、家事の頻度のようです。洗濯を毎日する人が9割の日本に対して、他国は6割くらい。掃除も毎日するのは、日本と中国だけのようです。また、家事を「義務」と感じる主婦は6割超でトップを走ります。家事にはできるだけ時間をかけたくないけど、誰もやってくれないし...。こんな方が多いのでは?でも考えて!家族みんなで少しずつ家事を分担すれば、時間も手間も随分省けるはず。うまく家族を活用するのも主婦の腕の見せ所かも...

いなべいきいきマイタウン

▶ 遊休農地等で牛を放牧 - 子どもたちと牛のふれあい -

「かわいい~」「家で飼いたい!」子どもたちの声が聞こえます。最初は牛の大きさに怖がっていましたが、帰るころになると牛に近づき、ナデナデ。この日は、種村牧場(藤原町)さんの放牧中の牛を見学させてもらった白瀬小学校3年生。とてもいい経験ができたようです。この取り組みは、近年増えている遊休農地等を有効活用するために、種村牧場さんが県畜産研究所から牛を借り受け、利用していない農地に放牧しているものです。牛たちが生い茂った雑草を食べることで、景観保全・飼料代等の生産コスト削減・飼料自給率の向上などが期待できるほか、獣害対策・人と動物のふれあい・食育にもつながるといことです。この取り組みが各地で広がり、昔の農村風景がよみがえるかもしれません。



情報提供: 種村徳治さん(藤原町)・三重県



生活情報「まいめる」
QRコード



モバイルサイト
QRコード



いなべ市ホームページ
(携帯電話用)QRコード

記事にあるQRコードは一部の携帯電話でご利用になれない場合があります。